



10月 いちごぐみだよ!

2020年10月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

涼しい秋の風が流れ、過ごしやすくなりました。子ども達の活動量も増え、ホールや園庭で元気に体を動かしています。保育者の動きを真似て四つ這いをしたり巧技台をそろそろと渡ったり、しゃがみ姿勢から「1、2の3!」で立ち上がってみたり♪自分だけの世界から、大人とのやり取りを楽しむことも増えてきました。これからも外で沢山歩いたり登ったり、草木を触ったりと探索活動を楽しんでいきたいと思います。

また、室内では「いないいない……ばあ!」の遊びが大人気。手で顔を覆ったり(小さな手で顔を隠しきれていないところがまたかわいいですね!)頭から布をかけたり、カーテンに隠れてみたりして、保育者の「いないいない~?」の声を待っています。保育者が探すふりをすると「ばあ~!」と輝く笑顔を見せてくれる子ども達。一人が始めると他の子どもそれぞれの方法で隠れて何度も繰り返し楽しんでいます。この遊びは子どもの「自分を見て!」という欲求が満たされる、とても大切な遊びです。他にも「まてまて~」と自分を追いかけてもらうことやくすぐり遊びも同じように子どもと大人の間を厚くする遊びです。



プールカードやバスタオルをご用意していただき、ありがとうございました。
今後は必要ありません。

砂って…不思議!

園庭で子ども達が夢中になっているのは、なんととっても砂遊び!入園当初は砂が手に付くのを嫌がっていた子も、今では砂場にどんと座って砂まみれの手で黙々と遊んでいます。乾いた砂、湿った砂、泥状の砂、同じ砂でも毎日感触が違ふところが砂遊びの一番の魅力です。保育者が作ったお団子や型抜きを崩して楽しむのも、みんなが通る道。「触ってみたら、形が変わる」というのは経験のある大人からしてみれば当たり前のことですが、子どもにとっては面白い発見なのです。

崩す→作ってもらう→また崩すというやり取りの中で「作って!」とアピールすることを覚えたり、自分がしたことを見てもらっているという充実感を感じたりできるよう、子どもに寄り添いながら砂遊びを楽しんでいきます。



薄着で過ごそう!

朝は肌寒い日がありますが、日中活動をしていると暑くなります。着替えは半袖メインでご用意ください。また、長袖は薄手のものをお持ちください。



前回のクラスだよりででもお伝えしているように、子どもは皮膚感覚を刺激されて育ちます。外気温を肌で感じることで体温を調整する力や体内の水分を逃がさないようにする力が育っていきます。また、身体機能も発達途上の子ども達は厚着になると動きづらく、転倒したときに手で身体を支えられずに思わぬ怪我を引き起こすこともあります。

子どもの服装は大人より一枚少なくするというのを目安に調整してあげてください。また、手足が冷たいと感じても手足の付け根や体幹が温かければ寒くはないということなので触って確かめてみてください。登降園時に肌寒いようでしたら半袖の上に薄手の上着やトレーナーを着用し、園に着いたら一枚脱ぐのも良いですね♪